

# Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド

東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 為替週間展望 = ドル円は方向感が出にくくもみ合いか

[新春展望]

週間高低 (カッコ内は日)		12月24日～12月30日			
	始値	高値	安値	終値	前週比
ドル・円	103.56	103.90(28)	103.26(30)	103.32	-0.33
ユーロ・ドル	1.2191	1.2295(30)	1.2181(28)	1.2278	+0.0091
=====					
国内株・金利 / 米国株・金利					
	終値	前週末比	終値	前週末比	
日経平均株価	27,444.17	+787.56	日本10年債利回り	0.021	+0.001
ダウ平均株価	30,335.67	+135.80	米10年債利回り	0.936	+0.013
=====					

<来週の主要経済統計等>

- 31日 中国12月製造業購買担当景気指数 (PMI)  
米新規失業保険申請件数
- 4日 中国12月財新製造業PMI  
独12月製造業PMI確報値  
ユーロ圏12月製造業PMI確報値  
英12月製造業PMI確報値  
米11月建設支出  
米12月製造業PMI確報値
- 5日 スイス12月消費者物価指数  
独12月雇用統計  
カナダ11月鉱工業製品価格  
米12月ISM製造業景況指数
- 6日 独12月非製造業PMI確報値  
ユーロ圏12月非製造業PMI確報値  
英12月非製造業PMI確報値  
ユーロ圏11月生産者物価指数  
独12月消費者物価指数速報値  
米12月ADP雇用統計  
米12月サービス業PMI  
米11月製造業受注
- 7日 豪11月住宅建設許可件数、豪11月貿易収支  
スイス12月雇用統計  
独11月製造業受注指数  
スイス11月小売売上高  
ユーロ圏12月消費者物価指数速報値、ユーロ圏11月小売売上高指数  
カナダ11月貿易収支  
米新規失業保険申請件数、米11月貿易収支  
米12月ISM非製造業景況指数  
カナダ12月Ivey購買部協会指数
- 8日 日本11月勤労者世帯家計調査  
日本11月景気動向指数速報値  
独11月貿易収支、独11月経常収支、独11月鉱工業生産指数  
ユーロ圏11月雇用統計  
カナダ12月雇用統計  
米12月雇用統計

【前回のレビュー】クリスマスの後は年末年始となり、ドル円は動きにくい見通し。ドルと円は同じ方向に動きやすく、米国で追加経済対策が成立しても、ドル円はもみ合いを大きく抜けるのは難しい状況が見込まれ、103円台を中心とするもみ合いが続くとした。

#### 【新型コロナウイルスの感染拡大は続く】

新型コロナウイルスの感染拡大は続いており、警戒感が広がっている。世界の感染者数は8100万人に達し、死者は176万人となっている。米国では感染者数が1900万人を突破しており、死者数は33万人を超えている。欧米各国を中心にワクチン接種は始まったものの、感染者数の増加を食い止めるには相当な時間がかかりそうだ。変異種の感染拡大も世界的に広がっており、こちらも警戒されている

トランプ米大統領が追加経済対策法案に署名した。こうした動きを好感して、米国株は堅調に推移して28日にNYダウなど主要3指数は最高値を更新している。そうした中、リスク選好の動きからドル売りの流れは続いている。円も売られやすくなっており、ドル円は103円台を中心とするレンジ相場となっている。

米国では、民主党が過半数を占める下院で、現金給付を1人当たり600ドルから2000ドルに増額する法案を28日に可決した。ただ、この法案には共和党が反対姿勢を示しており、成立への期待感がやや後退している。

明日は大晦日となり、国内市場は休場となる。海外市場はオープンする市場が多いものの、ドイツやスイスは休場。香港やシンガポールは短縮取引となる。週明けの新年1月4日以降は注目度の高い経済指標の発表が続く。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、12月31日に米新規失業保険申請件数、1月4日に米11月建設支出、米12月製造業PMI確報値、5日に米12月ISM製造業景況指数、6日に米12月ADP雇用統計、米12月サービス業PMI、米11月製造業受注、7日に米新規失業保険申請件数、米11月貿易収支、米12月ISM非製造業景況指数、8日に日本11月勤労者世帯家計調査、日本11月景気動向指数速報値、米12月雇用統計などがある。

米経済指標が上振れした場合は、従来は株高・ドル高に傾く傾向が強かった。このところは株高にはつながるが、リスク選好の高まりでドル売りにつながる傾向が強い。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、米経済指標は強弱入り乱れているとみられる。一方で、米追加経済対策による景気刺激効果への期待感もあり、米国株は堅調となり、ドルは上値重く推移して、円も売られやすい地合いとなりそうだ。

米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の長期化観測も米株高を支えている。一方で、リスク選好により、ドルの上値の重い状況は続くと思われる。円も売られやすい状況にあり、ドル円は方向感の出にくい展開が続くとみられる。ドル円は103～104円台での一進一退の動きを継続することとなりそうだ。ドル円の目先の予想レンジは、102.80～104.50円。

#### 【ユーロドルは堅調な推移か】

17日に1.2273付近まで上昇した後は、21日にコロナ変異種への警戒感から1.2130付近まで急落した。その後は持ち直してユーロ高ドル安の流れが継続して、29日には年初来高値を更新した。英国での新型コロナウイルスの変異種の出現と各国での感染拡大は警戒されるが、現時点ではユーロへの悪影響とはなっていない。

注目されるのは、4日発表のドイツやユーロ圏の12月の製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、6日に発表されるドイツやユーロ圏の12月非製造業PMI確報値などがある。速報値から上振れするようだと、ユーロのサポート要因となり、ユーロドルの堅調な動きにつながりそうだ。現在の堅調な流れを引き継いで、ユーロドルは緩やかに上値を追う展開になるとみられる。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.2150～1.2350ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、31日に中国12月製造業PMI、4日に

中国12月財新製造業PMI、独・ユーロ圏・英12月製造業PMI 確報値、5日にスイス12月消費者物価指数、独12月雇用統計、カナダ11月鉱工業製品価格、6日に独・ユーロ圏・英12月非製造業PMI 確報値、ユーロ圏11月生産者物価指数、独12月消費者物価指数速報値、7日に豪11月住宅建設許可件数、豪11月貿易収支、スイス12月雇用統計、独11月製造業受注指数、スイス11月小売売上高、ユーロ圏12月消費者物価指数速報値、ユーロ圏11月小売売上高指数、カナダ11月貿易収支、カナダ12月IVEY購買部協会指数、8日に独11月貿易収支、独11月経常収支、独11月鉱工業生産指数、ユーロ圏11月雇用統計、カナダ12月雇用統計などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

---

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。